



日本物理学会 Jr.セッション 最優秀賞！！

3月13日(土)にオンラインで開催された日本物理学会 Jr. セッションにて理科部2年の本村 かな さんの「落ち葉に宇宙の神秘を見る」が、見事、最優秀賞を受賞しました。

日本物理学会は自然科学の学会としては日本で最初に創立された学会で、そこでの発表は物理学を志す者にとって大きな憧れであり、今回の受賞は大変名誉なものです。

語学部でも副部長として一生懸命活動し、大変忙しい毎日を送っている本村さんですが、文部科学大臣賞を受賞したあとも、サイエンス・インカレ(主対象:大学生)に論文投稿したり、理論の信頼度を上げるためのモデル実験や長崎県工業技術センターでの風洞実験に取り組むなど、意欲的に活動してきました。その頑張りが今回の受賞として実を結びました。質疑応答の最後にタイトルの理由を尋ねられたときの、「誰も振り向かないような落ち葉でも研究を進めていくと、不思議なことがたくさんあるということがわかり、自然の不思議さ・神秘さを感じたからです」という本村さんの回答は、審査員の方々に深い感銘を与えたのと講評をいただきました。

7月31日(土)から和歌山県で開催される第45回全国高等学校総合文化祭(紀の国わかやま総文 2021)への出場が内定している本村さん。たった1人での研究は大変だと思いますが、強みである独自の感性や視点を大切に研究を深め、7月の大会では聴く人を引き込むプレゼンテーションを是非披露してください。

